

2018 年秋学期の全時間訓練のための
メッセージアウトライン

主題：
中心的なビジョン

メッセージ 11
キリストの奥義としての召会を認識する

聖書：コロサイ 2:2. エペソ 1:5, 9, 11. 3:4-5, 9-11. 5:32

- I. 召会は、神の永遠のエコノミーにおける隠された奥義です——エペソ 3:9-11：
- A. 神の永遠のエコノミーは、神のみこころ、神の大いなる喜び、神の定められた御旨と関係があります——啓 4:11. エペソ 1:5, 9, 11：
1. 神のみこころは神の願望です。神のみこころは、彼が行ないたいことです。神はご自身のみこころの奥義を、キリストにある啓示を通して、すなわち、キリストの肉体と成ること、十字架、復活、昇天を通して、わたしたちに知らせました——9 節. 3:9。
 2. 神の大いなる喜び、すなわち、彼の心の願いは、彼のみこころから来るものであり、彼のみこころの中に具体化されているので、彼のみこころが最初に来ます——1:5。
 3. 神の定められたみこころは、神の定められた御旨、前もって設定された意図となりました——9 節. 3:11。
- B. 神の永遠のエコノミーは、神の永遠の定められた御旨、神の定められた意図によるものです。神は明白な強い決意をもって、召会を持つことを意図しています——1:9, 3:11. II テモテ 1:9。
- C. 神は彼の永遠のエコノミーをキリストの中で立てました——エペソ 3:11：
1. 新約に啓示されているキリストは、三一の神と彼が経過したすべての手順の具体化です——ヨハネ 1:14. I コリント 15:45 後半. ヘブル 1:3。
 2. キリストは、神の永遠のエコノミーの要素、領域、手段、目標、目的です——エペソ 1:3-6。
 3. キリストは、神の永遠のエコノミーの中心であり、神のエコノミーのすべての内容はまさにキリストです——コロサイ 2:9。
 4. キリストは要素また領域であり、神はその中で、それをもって、それを通して、キリストのからだである召会を持つというご自身のエコノミーを完成します——エペソ 1:22-23。
- II. エペソ人への手紙第3章4節によれば、召会は「キリストの奥義」という特別な称号を持っています：
- A. 新約に啓示された神のエコノミーには、おもに二つの奥義があります——1:4. 24:16

前半：

1. コロサイ人への手紙に啓示された第一の奥義は、神の奥義としてのキリストです。彼は、具体化された神、定義された神、説明された神、表現された神、見えるようにされた神です—— 2:2。
2. エペソ人への手紙に、特に第3章に啓示された第二の奥義は、キリストの奥義としての召会です—— 4節：
 - a. キリストは奥義的ですが、召会はキリストの現れです—— 1:22-23。
 - b. キリストのからだである召会は、キリストの表現です—— 4:15-16。
 - c. わたしたちは召会を見るとき、キリストを見ます。わたしたちは召会の中へと入るとき、キリストの中へと入ります。わたしたちは召会と接触するとき、キリストと接触します。

B. 召会は、神の奥義であるキリストから生み出された団体の単位です——コロサイ 2:2、エペソ 3:4、5:30-32：

1. すべてを含むキリストは奥義的な神の奥義であり、そのような神の奥義としてのキリストは召会という単位を生み出します。
2. 奥義が奥義を生み出します。神の奥義であるキリストが、キリストの奥義である召会を生み出します。

III. キリストの奥義は、啓示によって、使徒たちと預言者たちに霊の中で啓示されてい
ず—— 3:5：

- A. ミングリングされた霊は手段であり、それによってキリストと召会に関する新約の啓示は使徒たちと預言者たちに明らかにされています。
- B. わたしたちの霊が神の霊とミングリングされる時、わたしたちの霊は器官となり、その中でキリストの奥義が啓示されます—— I コリント 6:17、エペソ 1:17、3:5。

IV. キリストの奥義である召会を通して、神の多種多様な知恵が天上にある支配たちや権
威たちに知らされています—— 10節：

- A. 神はご自身がいかに知恵深いかを、サタン勢力に立証することを願っています。召会を通して、神はご自身の知恵をおもに人にではなく、神の敵の従者たちであるあの反逆する天使たちに知らせるのです。
- B. 神の知恵を実に驚くばかりに展覧する召会は、神の傑作です—— 2:10：
 1. 神の目に、宇宙において最もすばらしいのは召会です。なぜなら、召会を通して、神の多種多様な知恵がサタンと彼の天使たちに知らされるからです。
 2. 召会を通して、サタンと彼の御使いたちが恥じ入られる日が来つつあります。彼らは自分たちが行なったすべての事が、神の知恵を現す機会を神に与えたことに気づくでしょう—— 3:9-11。

V. 偉大な奥義であるキリストと召会は、宇宙の意義です——啓4:11、エペソ5:32：

- A. キリストと召会は、宇宙の、また人生の意義です。
- B. 人を含む万物の創造における神の意図は、人が神とミングリングされて、召会を生み出すことです——ゼカリヤ 12:1、エペソ 3:9。

VI. 神の心の願いは、キリストの奥義、すなわち、キリストの増し加わりと表現としてのキリストのからだを得ることです——1:5, 9, 11, 22-23：

- A. からだの生活は、わたしたちの霊的な経験のこの上ない満足です—— 5:30 :
1. わたしたちは、この最高地点に到達しない限り、十分に満足することはできません。
 2. わたしたちがキリストの奥義の一部であることを認識し、キリストのからだの肢体として生きる時はじめて、わたしたちは十分に満足します——ローマ 12:4-5。
- B. クリスマン生活を知るために、わたしたちはキリストの奥義を知らなければなりません——コロサイ 1:27. ピリピ 1:19-21 前半。
- C. キリストの奥義はわたしたちの日常生活であるべきです。この奥義がなければ、わたしたちの生活はクリスマン生活ではなく、単なる人の生活にすぎないでしょう——エペソ 3:4. I テモテ 3:15-16。

© 2018 Living Stream Ministry